商学部
The Faculty of Commercial Sciences

観 Tourism　情 Information　街 Promotion of our community

研究トピックス

主にBig Data・GISなどを用いた観光行動・ビジネスの調査研究

専門分野

観光（観光ビジネス・観光行動）

金　徳謙　KIM Deokkyum

教員情報　https://shu-lab.shudo-u.ac.jp/shuhp/KgApp?kyoinId=ymiygsykggy

研究概要

主に島嶼観光が周辺の地域にもたらす効果を、膨大な量の文字や画像、映像など、いわゆる Big Data を手がかりに研究しています。データの収集および分析には主に、（1）文字データにはテキストマイニング（内容分析）、（2）画像データには AI を応用した解析技法、（3）空間データにはデジタルマップの制作・操作・分析に欠かせない GIS（Geographical Information System）分析、を用いています。このため、従来の抽象的でわかりにくい結果とは異なり、より客観的で明確な結論を得ることができます。

研究シーズの応用

つぎのような 4 分野に応用ができると思います。

・地域の観光情報発信のための WEB 用 3 D 観光ガイドマップの作成
　GIS を用いた正確なデジタルマップを制作し、ホームページなどへの公開することで、地域の魅力を新たな感覚でアピールすることができます。
・地域における観光者の回遊行動の把握・分析
　来訪する観光客の行動を「多分」こうだろうと把握しているケースが多いと思いますが、観光者の行動を GPS などを使った調査により、より正確に把握することができます。このため、地域内における精度の高い観光計画や需要の予測などができます。
・観光者が地域に対してもっているイメージの分析
　アンケートなどによる調査では地域の立場から観光客が持っているだろうイメージを推測することはできますが、実際の観光客が持っているイメージを把握することは、ほぼ不可能です。観光客が SNS などに書き込んだ膨大な口コミや評価情報（いわゆるビッグデータ）を収集、分析することで、観光客の本

音を読み取ることができます。

・観光政策やまちづくりに必要な基礎調査

政策立案は正確なエビデンスに基づく必要があります。正確なエビデンスは精度の高い調査を行うことでこそ手に入れることができます。観光客の本音を読み取る、行動を正確に把握する、特徴を正確に把握するなどのことは、近年のビッグデータやＡＩ技術を応用した手法を用いることで必要なデータを入手することができるようになります。

キーワード

Big Data　GIS　観光　行動

研究トピックス

言語コミュニケーション

専門分野

言語学

竹井　光子　TAKEI Mitsuko
教員情報　https://shu-lab.shudo-u.ac.jp/shuhp/KgApp?kyoinId=ymkmgkgoggy

研究概要

専門は、コンピュータに人間の言葉を理解し処理させることを目的とする「計算言語学（Computational Linguistics)」。言語学と情報科学が融合した分野です。省略が多いといわれる日本語の言語処理を出発点として、日本語の独話・対話・会話にみられる特徴や傾向に焦点を当てた研究を続けています。最近は、多文化共生社会における「共通語としての日本語」によるコミュニケーションや、情報通信技術を活用して空間を越える「バーチャル交流」における異文化コミュニケーションの場面に注目しています。これらの場面での日本語インターアクションの特徴やその背景にある意識を探ることを研究のねらいとしています。

研究シーズの応用

多文化共生が進展する現代社会、機械翻訳の発展が言語の壁をなくしつつある AI 社会における日本語の位置づけやコミュニケーションについて考えます。まずは、われわれの第一言語である日本語について、そのコミュニケーションの特徴や文化的背景を客観的に把握することで、より効果的な「多文化共生社会における異文化間コミュニケーション」や「ICT、AI 社会における言語コミュニケーション」へとつなげることをねらいとします。異なる人と人、人と機械が互いを認め合いつつ、共存していく社会を目指します。

キーワード

言語　文化　コミュニケーション　ICT・AI